

●フレーム切手「植田正治生誕 100 年記念」



生誕 100 年記念
植田正治
写真するボク

SHOJI UEDA
His LIFE was
TOTTORI

ジャンプするボク
Photo by SHOJI UEDA © SHOJI UEDA OFFICE



ボクのわしのおまん
Photo by SHOJI UEDA



かこ
Photo by SHOJI UEDA



本を持つボク
Photo by SHOJI UEDA



パパとママと子どもたち
Photo by SHOJI UEDA



夏のいる砂丘風景(III)
Photo by SHOJI UEDA



シリーズ(壺屋)より
Photo by SHOJI UEDA



シリーズ(壺屋)より
Photo by SHOJI UEDA



シリーズ(砂丘モード)より
Photo by SHOJI UEDA



シリーズ(砂丘モード)より
Photo by SHOJI UEDA



シリーズ(壺屋)より
Photo by SHOJI UEDA

- 切手と写真部分を郵便物に貼って、ご利用いただけます。
写真部分だけでは、切手としてご利用いただけません。
- 郵便料金納付のためにこの切手をご利用の場合、写真部分に消印がかかることがあります。

凸版印刷株式会社製



●台紙（表面）



シリーズ(砂丘モード)より 1983年 © SHOJI UEDA OFFICE

SHOJI UEDA
His LIFE was
TOTTORI.

生誕
100年記念
植田正治
「写真するボク」

●台紙（中面）

1913	三月十七日、島根県西伯郡境町（現・境港市）に生まれる。 風景写真家も両親のもと、家の跡地として大切に育てられる。	0 歳
1923	家の移り向かへに住む青年から写真の発展を促される。 風景の中の日影、竹やぶと傳ふ光とがうつくる写真の面白さに惹かれる。	10 歳
1930	洋画家を主し東京の美術学校に進学を希望するも、両親から反対を受ける。 断念する代わりにドイツ製の高級カメラを買い与えられる。	17 歳
1931	米子市会へ入会。家業を手伝いの合間に自転車でも出かける撮影した 「石の木のなる風景」浜の名を「かきとられ写真展」に選出。	18 歳
1932	入選を機に「写真家になりた」と思ふ。上京しリノエを写真学校に入学。 卒業後、郷里に帰り、街の写真館「植田写真館」を開業。	19 歳
1935	白鳥社社長と結婚。写真日和は植田写真館を妻の姉妹宅にまわす。 自転車でも写真を撮りに行つてしまふこともあったといふ。	22 歳
1939	「少女四郎」が第十二回日本写真美術展で特選を受賞。 終戦後の動きをしようと演出して写真展を開催する。 「演出写真」は、ここから始まる。	26 歳
	戦争の影響で写真する上と自分が叶わなくなった悔い。 終戦後悲しむと絶望のなか、朝日写真展覧会、作品募集を呼び、 再び写真を撮れるよに感激する。同展覧会に応募した「道」は特選に選出。	
1949	妻と三重二の女子供たちと演出写真展。母の家族のシートをばいり、 砂浜の砂丘を舞台に大作品で高い評価を得る。	36 歳
1954	「湖の下水面」「湖の心」が第三回に特賞受賞。 この頃、リノエ写真の巨頭で、自身の演出写真との違いに悩む。	41 歳
1971	子供の四季を何気なく日常のなかで捉えた「演習シリーズ」が写真展に。 この頃、写真雑誌に十二年間にわたる掲載された シリーズ「少女四郎」を撮りつづける。	58 歳
1978	第四回アル国際写真フェスティバルフェスティバルに招待される。 文化庁第10周年記念功労者表彰を受ける。	65 歳
1982	「日本の38人の写真家」展に出品	69 歳
1983	TAKEO KIKUCHI「まどろ」展で特選に「砂丘とト」シリーズ展開。 「小さな街」展もして、いつも時代が新しい物事を常に敏感にしよう との想いが、新しい写真作品に。	70 歳代
1995	植田正治写真美術館開館	82 歳
1996	まどろの芸術文化勲章を授けられ受賞	83 歳
2000	七月四日死去。享年87歳。	87 歳
2013	三月十七日生誕百年	



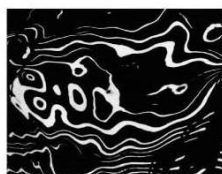
GITAKES 1992年



シリーズ(少女四郎) 1974-85年



シリーズ(道) 1959-70年



湖の下水面 1954年



少女四郎 1939年



▲植田正治写真美術館（西伯郡伯耆町）
代表作品を鑑賞できるコレクション展示と企画展示の二
部構成。外壁に取り付けられた世界最大規模の巨大力
メラレンズを通して、鳥取県の名峰、大山の逆さ面が
見られる映像展示室（カメラの部屋）はカメラファン必見
です。建物は初開館の名作「少女四郎」をイメージし、高松
伸氏による設計。
* 面積600mm 高さ500mm



風船を持った自画像 1948年

植田正治

大層な個性と徹底な演出で知られる写真家。
生涯、自身をアマチュアと呼び、撮りたいものを撮りつづけた写真家です。
「写真することがとても楽しい」と、地元、鳥取県で写真を撮りつづけた写真家です。

A b o u t S H O J I U E D A

●台紙（裏面）

About TOTTORI

MAP／鳥取全図



ACCESS／アクセス

✈ 飛行機

東京（羽田空港）

— 鳥取空港／ANA 1日4便 1時間10分

— 米子鬼太郎空港／ANA 1日5便 1時間15分

🚆 鉄道

東京

— 鳥取 のぞみ（姫路のりかえ）特急スーパーはくと 5時間

— 米子 のぞみ（岡山のりかえ）特急やくも 5時間40分

大阪 — 鳥取 特急スーパーはくと 2時間30分

新大阪 — 米子 のぞみ（岡山のりかえ）特急やくも 3時間

名古屋

— 鳥取 のぞみ（姫路のりかえ）特急スーパーはくと 3時間20分

— 米子 のぞみ（岡山のりかえ）特急やくも 4時間

🚌 高速バス

東京

— 鳥取 〈夜行〉9時間35分 日ノ丸・日交・京浜急行

— 米子 〈夜行〉10時間20分 日ノ丸・日交・京浜急行

大阪

— 鳥取 2時間55分 日交（大阪梅田から）

— 米子 3時間30分 日交（大阪梅田から）

名古屋

— 米子 〈夜行〉8時間20分 中国JRバス

INFORMATION／問い合わせ先

植田正治の写真に関するお問い合わせは

植田正治写真美術館

TEL 0859-39-8000

URL <http://www.japro.com/ueda/>

鳥取県の観光に関するお問い合わせは

(社)鳥取県観光連盟

TEL 0857-39-2111

URL <http://www.tottori-guide.jp/>[とっとり旅の生情報](#) [検索](#)